

マイケルJローズ ニュースレター 2009年 秋号-2



愛と光の皆さんへ

お元気ですか？今年も、3週間に及ぶマイケルのセミナーツアーが終わりました。今回で10回目でしたが、いつも、新たな経験と学びと喜びがあります。

私は、マイケルが経験している、経験させてもらっているメタフィジカルな領域での学び・真理が、とても好きなんだと、つくづく思いました。

制限のない、広くて、自由で、のびやかで、愛と喜びに溢れている世界、すべてが一つである世界です。その世界は、本当は、私達の中にも外にもあって、それを感じるかどうか、生きるかどうかは私達が選択しているだけ・・・そのことを強く感じました。人生の100%、すべてを自分が作り出していると。

今回、苦手？と感じているインナーエクササイズに思いきりコミットすることができました。とくにユニバーサルツリーのインナーエクササイズに、メタフィジカルな身体、肉体の細胞すべてが喜びで震えました。全て愛であり、大丈夫、ただ愛と喜びを生きればよい・・・その感覚が身体の内側すべてが感じている・・・そんな風を感じました。

そして、何回も参加している人たちが、自分の制限を淡く淡くして、さらにパワフルに、さらに伸びやかになってきている様子に、とてもうれしくなりました。マイケルの京都セミナーに6回ほど参加しているパートナーの俊之さんが、来年はインテンシブに出ると決めたことも、大きなプレゼントです。

誰もが、メタフィジカルな多次元の愛と光の存在、自分の現実を作っているパワフルな存在。だからこそ、自分で愛を生きる、自分を大切にする、実践することが大切です。

あなたは、あなたが思っているよりもはるかに素晴らしい存在です。

そう思います！！素晴らしい毎日を♪

たくさん愛と感謝をこめて やすみ

※ 今回の秋号は2回に分けてお届けしています。マイケルのお話、質問と洞察の一部は秋号1に掲載しています。

右脳を育てる by キャロリン



今年のセミナーでマイケルが話したことの一つは、左脳が支配的な人間から全脳をバランスよく使う人間になる必要性についてでした。左脳が世界を支配しています。しかし、今日の世界を見ると、二極性と分離の態度からとてもひどい結果を生み出していることがよく分かります。このことを示す驚くべき数字があります。二十世紀に、人類は、一億を超える人々を意図的に殺しました。こんなことをする生物、種は、他にいません。しかし、私達は、地球上で叡智の頂点にいると思っていますのです。

脳についてはたくさんの方が書いています。トニー・ライトの「Left in the Dark」ジル・ボルテ・テラーによる「My Stroke of Insight」など。アメリカの新聞「USA Today」は次のように示唆していました。左脳から右脳へ再訓練するならば、これからの経済に復活と壊滅の違いを作り出すと。過去の通例に従い、これまで通りにやる、そういった考えが、自由な考えに取って代わりつつある…つまり、左脳の快適なゾーンから未知なる右脳へと。そうすると創造力が活性化されます。ある研究によると、芸術を学んでいる医学生は病気の診断の正確さにおいて 50%ほどの向上を示したそうです。誰一人、左脳が役に立たないと言っていません…左脳なしでは、歩くことも話すことも、その他、多くのことができません。しかし、右脳を見直す人が増えています…全脳のバランスを使ったユニークな解決法で創造的で進歩的な未来をもたらすことになるでしょう。

では、右脳と左脳の働きの違いは何でしょう？ 下記は、マイケルがインテンシブで話したリストの一部です。

左脳	右脳
言葉による	視覚による
考えること	感じること
エゴ・人格	本質的なセルフ
心配・不安	信頼・平安
忙しいマインド	リラックスしたマインド
論理・分析的	直観・洞察
分離・孤立	つながり・全体性
競争	協力
する	在る
教条的・融通がきかない	オープン・柔軟
感情を否定	感情を受け入れる
善と悪・正しいと間違い	あるがまま
これまで通り	変化を受け入れる
ハートと繋がらない	ハートと繋がる
自動的・習慣・癖	選択する自由
マインドの絶えざるおしゃべり	平安・平静
批判・評価	受容・信頼
詳細・予定	今・ここ
恐れ・慎重	すべて完全である
個々としての出来事	すべて繋がっている
知識	叡智・知恵

もし、自分が左脳に偏っていると思い、右脳の働きを活性化したいならば、歌を歌ったり、自然の中を歩いたり、ガーデニングをしたり、詩を書いたり、面白いことをして笑ったり、子どもと遊んだり、空想小説を読んだり、絵を描いたりしてください。あなた自身を信頼し愛し、無理に変えようとするのではなく、あるがままの一日を楽しんでください。

右脳の活動は、瞬間の自発的、自然なものです。左脳の活動は潜在意識からの「これまでと同じ」へと偏っています。神経科学者の研究によると、私達は一日のうち五パーセントしか意識してマインドを使っていないそうです。九十五パーセント、あるいはそれ以上の時間を、私達は自動的に、潜在意識から生きているのです。マインドが情報を処理するとき、意識して処理するよりも、潜在意識からのほうが、はるかにパワフルなのです。この統計は、私達が左脳優先的な生物、種になっていることを示しています。

それではうまくいきません。理論科学の研究によると、人類は、今のままでいくと今世紀末まで生きながらえることができないだろうと指摘しています。どうしてでしょう？ 自然を見てください。マイケルが言うように、ミツバチの巣やアリの巣は、全てが全体に貢献し、サポートしていますが、人類は、「それは、自分にとってどんな利益があるか？」と考えます。あなたがそうだと言っているのではありません…これを読んでいるのですから…しかし、私達は少数です。

コミュニケーションに苦労しているカップルがいるとき、片方は左脳が支配的で、その相手は右脳が支配的である場合がよくあります。このことを分かり、人生との関わり方の違いにお互いが気づくなら、もっと理解し合う手助けとなります。

生存のために苦労していた有史以前に、人類は左脳を発達させたと考えられています。今でも、左脳は大いなる愛を理解するのに苦労しています。しかし、右脳は愛を受け入れ表現します。私達が愛を十分に表現できるなら、生存するための苦労もなく、一億を超える人たちを意図的に殺す必要もないでしょう。私は、今、地球に及んでいる新しいエネルギー波が、大いなる愛の新しい波動が、地球を覆っていると信じています。私達は、その新しい波動と共にあって、全脳と感情のバランスを作り出し、私たち自身の、私達の世界にある不調和を解消しつつある…そして、やがて「地上の楽園」を作り出す、そう信じています。そうありますように。

愛の中で キャロリン

質問と 洞察 by マイケル



質問とは、自分の外に答えを求めていることを意味します。覚えておいてください。質問があるときは、あなた自身より深いところにすでにその洞察があります。それが一体性というものです。このコラムはあなた自身の内なる洞察や知恵への飛び込み台となるものです。

質問: [自分を好きになる、愛することが、大切であることは分かりますが、どうしたら自分を好きになれるのでしょうか？](#)

洞察: 「あなた自身を好きになる」ためにどうすればよいかと聞かれると、いつも答える言葉があります。「まず自分自身に親切に好意的に接しなさい」と。

考えてみてください。自己批判とは、自己評価に過ぎないと信じている人たちがいます。違います。自己批判とは、自分への攻撃以外のなにものでもありません。その意図が、攻撃でないことは分かりますが、批判が引き起こすこと、それはいつも自分への攻撃です。

あなた自身を好きになるためには、まず自分に対して、あなたが深く愛する人たちに話しかける同じ態度であなた自身に話しかける必要があります。

愛する人に接するとき、その人の気持ちを大切にしながら思いやりと愛をもって話しかけるでしょうか？愛する人に、それ以下の接し方をしているのであれば、これから愛についてたくさん学ぶことができます。

思考が感情に先行します。あなたのなかで潜在意識からのネガティブな批判の対話をする、その内なる対話が意識下にある思考の絶えざる流れを作り出します。こういった思考は私たちの感情に否定的な衝撃と影響を与えます。自己嫌悪が大きくなるのはこの否定的で感情的な影響のせいなのです。

内なるところで元気がでる、気力が湧いてくるような対話をする人は殆んどいません。そういう対話をする人は、自分のことが好きだし、自分を愛していると言えます。

どうして自分を好きになる、愛する人が少ないのでしょうか。

それはおもに子ども時代に始まります。両親は、子どもを愛していると言います。勿論、彼らなりに、愛しています。しかし、制限や恐れの中で、子どもに、自分に接します。そのため、褒めるよりも子どもの批判に費やす時間のほうがはるかに多いのです。そして、「批判するのはお前のためだよ」と言います。だから、その子どもが大人になったとき、同じことを続けてしまいます…深く条件付けられたままに、です。本当のところ、批判には愛がありません。愛は、批判しません。愛は、賞賛と感謝の言葉を話します。

ですから、批判の会話をやめて、賞賛と感謝の会話を始めるのです。あなた自身を、家族を、仕事を、人生を賞賛することから始めましょう。

一日のなかで、親切な人や、思いやりのある人と賞賛を分かち合ひましょう。

上手になってきたら、あなたへの敬意に欠けている人たち、あなたに怒りを表わす人たちも、賞賛してあげましょう。なぜなら、彼らは、自分を敬う気持ちや、自分を好きになるというあなたの成長を力強く促してくれる先生と言えるからです。

日本人は、礼儀正しく、お互い敬意をもって挨拶を交わします。しかし、自分自身に同じような敬意をもっているかという、そうでもなさそうです。自分よりも他人を尊重している人が多いと思います。しかし、自分を大切にできないで、他人を大切にすることはできません。

もし大都会で道を尋ねたなら、目的地に着くためには、教えてくれたとおりに注意してその行き方に従わなければなりません。そうでなければ、何か手がかりを求めて雑踏のなかを長い間さ迷うことになります。ここで「あなたを好きになること」が、目的地としましょう。あなたは、目的地へのガイドラインに注意して従う必要があります。

そのガイドラインとは、まずあなたの思考や思案していることに気づいていることです。毎日をネガティブなことに焦点をあてているなら、人生は下り坂になります。愛をもって肯定的に人生を生きるなら、あなたはより高みへと向かいます。

人生の下り坂と、あなたの収入は関係ありません。有り余るほどのお金があっても、メンタルに感情的に、暗いところへ向かうこともありえます。うつ状態と呼ばれるものです。ですから、あなたを好きになることと、社会的な成功や失敗とは関係がありません。

あなたを好きになること、それは、あなたがあなたのベストフレンド、親友になることです。あなた自身を大切に、尊敬することです。自分への誠実さであり、自己賞賛について、です。自分を大切に、人生のなかの喜びや、良きことを見ることについて、です。

「あなたを好きになる」それは、あなたが他人より劣ってもいなければ、優れてもいないことを知ることです。簡単そうですが、ごくわずかの人たちしか、そこに到達しません。

しかし、それはとてもシンプルな選択に続く、シンプルなプロセスです。

その選択とは、多かれ少なかれこれまでと同じ生き方を選ぶのか、新しさへの努力をするのか、です。これまでの癖や習慣をもったままこの人生を生きるのか、あるいは、新生でワクワクする目的地へ向かう新しい道を歩くのか、です。

自分を敬って生きる道を選びますか？それとも、これまでの癖や習慣を繰り返す生き方を選びますか？

あなたの気持ちを高揚させるような習慣や癖は、ほとんどありません。

どうしてでしょう。なぜなら、習慣とはいつも潜在意識からくるものであり、敬って生きる道とは、より高いレベルの思考から、意識して人生に関わることを必要とするからです。

あなた自身を好きになることを学ぶとは、あなたが嫌いな人や嫌いな知人と親しくして生きることを学ぶようなものです。その人の持つ良さをすべて、よい所すべてを見いだすのです。

その前に、あなたは、まずその人を好きになる、愛することを学ぼうと決心しなければなりません。その人が問題なのではなく、その人への態度や期待が、間違っているだけであることを学ばなければなりません。

丁度、あなたの両親があなたに対して非現実的な期待を持っていたように、あなたも自分に対して両親と同じような期待を持ってきたのです。あなたの両親が、あなたを批判し、罰したように、あなたは、あなた自身に対して、感情的に同じことをしているのです。

これを、終わらせなければなりません。

あなたが、あなた自身の本当に大好きなベストフレンドになることを学ばなければなりません。

ガイドランのもう一つは、自己受容を学ぶことです。自分のままで、良いのだということを学ばなければなりません。あなたのままでいること、あなたらしくあることです。

他人のようになろうとしないことです。あなたを他人と比べないことです。
あなた自身を裁かないことです。鏡を見て、「嫌だな」と思わないことです。その反対です。
あなたは、かけがえのない存在であること、とてもユニークであることを知ることです。
自己受容があれば、あなた自身を好きになることを学ぶ必要なんてありません。
自己受容があると、決して自分を否定しません。
あなた自身を、人々を、あるがままに受け入れましょう。

あなたを好きになる、それはとても価値ある目標です。あなたの人生を高めるための素晴らしい目標です。あなたへの尊重とあなたの価値を認めるスピリチュアルな道です。その道には、たくさんの素晴らしいことがあります。
自分を本当に好きになったとき、あなたの人生はとてもよい方向へと変わることが分かるでしょう。その素晴らしさが分かってくるでしょう。
あなた自身を心から好きになるという行為そのものが、あなたの日々の美しく明るく輝く太陽の光なのです！！

十月のジ・オラクルより

過去にあなたが自分に課した制限は、自分で変えようとしなくても制限のままです。

人生で、何事もひとりでに変化することはありません。
昨日あなたが生きたその生き方が、今日も続いていくのです。
あなたが、人生を広げる・豊かにするために必要な変化をおこさない限りは、です。
制限や限界は、子供のときに、あるいは両親によって課せられ固定されたものです。

一日を始めるとき、その枠組みを決めているのはあなたです。
あなたの制限を見てみるのです。制限に気づきましょう。
そして、これからの人生もその制限を生きるかどうか決めるのです。

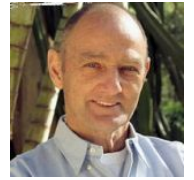
私たちは鉢植えの植物のようなものです。
十分大きく育てたいなら、より大きな鉢植えに移植し続けることです。

制限を超えて、より自由で、より広大な人生を生きましょう。

生命・人生はより良い方向へいつも向っています。
ですから真実の翼を使って羽ばたきましょう。 by マイケル

マイケルに質問のある方は下記のアドレスにご連絡ください。
英語での質問はキャロリン宛: carolyn@roadswayusa.com
日本語は、こちらへ: yasumi@galaxy.ocn.ne.jp

意識のコラム by マイケル



「魂との対話」「魂への旅」を読んだ男性からメールを受け取りました。そのメールで彼は、2冊を自分の参考書にしており、そこから学んだこと、そして昨年一年間で彼自身が学んだことを…それ以上のことを、リストにしていました。彼のリストを触媒として私の考えを述べたいと思います。批判ではありませんが、私の見解と違う点、あるいは、彼の見解を広げて述べてみます。私が思うに、そのリストは、洞察と知恵において成長しつつある人のリストです。もし彼にアドバイスをするとしたら、一つの結論に達しないこと、です。結論は、身動きができないところへと、あなたを向わせませす。

リスト1. あらゆることは、私達の見方・受け止め方の反映です。どのように物事を捉えるかは、自分次第です。だから、その捉え方とは自分自身を映し出しています。いくつもの人生で、人々が共に、あるいは個人として、してきたことを考えてみると、私達の世界は、自身の見方・受け止め方によって作り出したものです。

マイケル: もう一步踏み込んでみましょう。けれども、それは、私達の認識の仕方のせいではありません。なぜなら、私達の受け止め方・認識は、自身の生き方によって影響を受ける・形作られるからです。本当のあなた・セルフとあなたとの関係が、人生との関係です。そのように働きます。個人的な世界は、必ずしも他人と共有する世界ではありません。私達は自分の人生を、個人として生きています。そして、人生とは、その個の反映です。個々の人生の経験は、いつもその人自身の意識状態を反映するものです。

リスト2. あらゆることが選択です。時々が良い選択を、ときどきは残念な選択をします。

マイケル: あらゆることは選択と言えますが、それほどシンプルでもありません。あなたが信じていることがあなたの人生の経験を形作り、決めていきます。あなたの信念は、あなたが生きている箱を作り出します。つまり、あなたは、あなたの箱にあるものからしか選択できないということです。あらゆる宗教は一つの箱です。仏教徒は仏教徒としての選択を、イスラム教徒であれ、カトリック教徒であれ、すべて同じことが言えます。自由に選択するためには、全ての信念と箱を、捨ててしまわなければなりません。あなたの制限や信念を捨てていきましょう。そうすると、より自由な選択ができるようになります。

あなたが全ての箱を投げ捨て、本当に選択の自由を見出したとき、あなたは、はるか昔に、「生きる」というもっとも重要な選択を自らしたことが分かるでしょう。

リスト3. 自分の愛の表わし方と愛するものを見れば、自分自身が分かります。

マイケル: 自分の愛・個人的な愛は、確かに、あなたを表わしていますが、あなたである本当のあなた・セルフを表わすことはありません。ですから、個人的な愛から本当のあなたを知ることはできません。宇宙的・無条件の愛を経験するとき、それは本当のあなたであるセルフの経験となります。そのときにこそ、本当の自分を知ります。自分が大いなる愛であることを知ることになります。

リスト4. 大いなる愛は、宇宙に、宇宙のまわりにある全てに行き渡ります。

マイケル: 全ては愛です。宇宙は愛です。いわゆる空間のすべては、愛です。愛は、人生の創造的な要因です。生命・人生は愛が表現されたものです。普通、私達はこのはかりしれない愛を、神と呼びます。そして、神を外なるものとしてしまいます。神と自分を引き離して、神・愛から分離した幻想の人生を送ります。しかし、すべては一つです。セルフの外には、何もありません。

リスト 5. 私達は、大いなる生命の一部です。それゆえ、生命への向い方がどれほど違っていようと、たとえ同じ結果でなくても、よく似た結果となります。

マイケル: 私達は全体の一部であり、一部の中の全体です。だから、生命は包括的です。私達は、生命を見出しつつある生命の全ての表現です。私達一人一人がユニークな大いなる存在です。ですから人生において同じ結果を経験することはありません。人生において、あなたのユニークさを生きているので、あなたは周りにいる人たちと異なるユニークな世界を見えています。確かに、多くの人は、同じ幻想を共有しています。つまり、「総意による現実」と呼ばれるものです。あなたが、同じ結果を経験することになるのは、総意による現実を生きるときだけです。人生のあなたの経験は、あなた自身の意識の状態を映し出したものです。

リスト 6. 変化は、真実です。なぜなら、物事は絶えず変化し続けますから。

マイケル: 同意します。変化は、意識の成長と拡大に必須です。意識は、生命を表現するために物質的な形を引き寄せます。人生は、絶えざる変化です…気候でさえも！気候の変化に対して私達は不安を抱えています。しかし、気候が完全に安定したとしても、そのときは、他の心配事を抱えているでしょう。根っこにある問題は、私達が「変化しない」でいることに囚われていることです。私達は、変化を恐れ、抵抗します。内なる変化、人生における変化を受け入れ、その変化を十分に表現させましょう。

リスト 7 一般的な知識は、物質的な世界でいかに生きるべきかについての情報にすぎません。

マイケル: 近い表現ですが、それ以上のことがあります。私達が共有している一般的な知識とは、ほぼ彼が書いている通りです。つまり、どのように生きるべきかに関する情報です。しかし、もし、あなたが神秘的な認識を経験する意識状態に生きるなら、「内なるところからの直接的な知」と私は呼んでいます。知識とは、動きを殆ど止められた「知」であることが分かります。何かについての知識と、それを「直接的に知る」とことは、大変異なる経験です。知識はあなたのメンタルな、知的な容量を広げますが、「直接的な知」はあなたの意識を広げます。私は、「直接的な知」を経験します、そして、この「知」を、物質的な現実の言葉にする課程でどれほどその意味が減少させられるかを痛いほど知っています。「直接的な知」は、意識の中の直接的、包括的なフィードバックです。その経験が、メンタルに消化された後は、その意味は減少し、変えられ、それが、知識となります。

リスト 8 物質界は、その結果を直接、体で感じるため、もっとも影響力があります。

マイケル: 殆どの人にとって、物質界が唯一存在する世界です。ですから、確かに、彼らには最も影響力があります。原因と結果は、物質界において素晴らしい教師です…が、私達は学んでいるでしょうか？私達誰もがメタフィジカルな存在であり、メタフィジカルがいつも物質的なことに先行することを考えるとき、全ての原因は、メタフィジカルであることに気づくでしょう。「メタフィジカルなことが原因となって、物質的な結果が起きる」、このことから、私達は、どれほど学んでいるでしょう。残念ながら、ほとんど学んでいないのが現実です。

リスト 9 あなた自身をマスターすると、あなたの人生に登場するあらゆることをマスター・克服できます。

マイケル: もし、あなた自身をマスターするという表現で、人格としてのあなたをマスターすることを意味しているなら、たくさんの学びが待ち受けています。もし、本当のあなたであるセルフのマスターを意味しているなら、それがセルフを「知る」ことを意味するなら、それは自己実現であり、セルフの外にマスターするべきことは何もないことを知るでしょう。セルフとあなたの関係が、人生とあなた自身の関係となります。けれども、セルフに関して言えば、本当はマスターすべきことは何もありません。愛があるのみです。セルフを愛するとき、人生を自ら治めることとなります。マスターするのではなく、抵抗するのをやめて、手放すことです。それは従順と違います。思い通りにしようとコントロールするのを止める、手放すことです。人生は完全であると、完全さが表現されていると「直接的に知る」ことです。

リスト 10 恐れは、しばしば前進と動きの妨げとなります。

マイケル: 恐れはいつも前進と動きの妨げとなります。過去を未来に投影するネガティブな経験の結果です。恐れは、私達を無力にします。ストレスと苦しみを生きる原因となります。恐れは、いつも自己破壊的でネガティブである思考から自分が作り出すものです。つまり、恐れは幻想です。

リスト 11 もし、何かを理解するなら、それを恐れることはありません。

マイケル: もし、人食いライオンと分かっている飢えたライオンのケージに入れられたら・・・恐れませんか？おそらく、彼は、次のことを言いたいのだと思います。もし、あなたが現実の本質を理解するなら、恐れることは何もないことに気づくと。しかし、理解とは、知的なことであり、「直接的な知」と比べると、とても浅いものです。何かを理解する、それは恐れへの予知をたくさん残します。「直接的な知」は、物事に反応して恐れを作り出すことはありません。

リスト 12 人々は、善悪正邪がないことを、自分なりに理解しています。つまり、それは単なる意見に過ぎません。実際、私も多くの人と同じような判断・価値観をもっています。

マイケル: 正直ですね。しかし、殆どの人は、まだ正邪、善悪の価値観をしっかりと持っています。そこを超えて物事を見る人は殆どいません。

もし、現実をあるがままに見るなら、それは原因と結果のプロセスであることが分かります。私達は、そのプロセスと結果が不快なら、間違っているとみなし、好ましいものなら、良しとします。一般的に、正邪、善悪は、私達の信念体系と条件付けをもとに作られています。囚われのない洞察を育てましょう。

リスト 13 世にあって、世のものではなく(訳注: 聖書の言葉です)、あなた自身の現実を創造しなさい。

マイケル: 私たちは、誰もがそれぞれの現実を創造し続けます。しかし、彼の言葉をより正確に伝えたいので付け加えます。自分自身の現実を意識して創造することは、意識しない創造とはまったく違います。

あなたは、人生のあらゆる瞬間に、あなたの人生を作り出しています。「世にあって、世のものではなく」・・・何度も話され、書かれています。その意味を知っている人は殆どいないと思います。メタフィジカルな存在として、私達は、大いなる愛のメタフィジカルな世界・現実には生きています。意識して、この愛を生きるとは、宇宙と調和して生きることです。「世のものになる」とは、幻想の世界に留まることです。

リスト 14 私達が、今、するあらゆることが、私達の未来を創造する。だから、未来のことを考えても意味がない。過去に思いをはせるなら、今、起きていることを見逃します。

マイケル: 今、私達がなすことすべて、未来と過去を創造します。創造という意識のレベルに関しては、全ての時が同じ空間にあるから、です。物質的に、私達は直線の時間を生きていますが、メタフィジカルには、過去も未来も現在もすべて含む「球状の時間」に生きています。肉体を使ってすることは、私達の未来に影響を与えません。しかし、その行為をするときの意識が、私達の未来と・・・過去に、パワフルな影響力をもっています。本当です。私達は、過去を変えることができます。私達が生きているこの物質界は、メタフィジカルな原因が物質的な結果として映し出されたものです。私達がメタフィジカルな存在であることを知らない、あるいは否定したとしても、だからといって、その現実を何も変えることはできません。本当のあなた・セルフを知ること、私達は人生・生命を知り、人生・生命がどのようにはたらくかを知ります。

リスト 15 人生に起きてくることに、立ち向かうのではなく、共に進みなさい。

マイケル: 同意します。あなたが焦点をあてる場所へ、エネルギーは流れます。向ってほしい方向へエネルギーの流れを進ませる、つまり、向って欲しいところへ焦点をあてる、それは叡智です。

男性は、次のように締めくくっています。「これを読むとき、どうか楽しんでください。私なりのまとめを送るかどうかためらいましたが、送る結果が、その理由となることを信頼します」

ありがとう。あなたの言葉は、読者にとっての飛び込み台になると思いました。あなたに感謝します。これは、あなたへの返事でもあります。あなたの言葉に対する批判と受け止めないようにしてください。あなたの洞察は創造的で、あなたは、広がりつつある大いなる存在です。生命は継続する成長と、内なる広がりプロセスであり、古いもの、時代遅れのものを手放し、新しさを受け入れるプロセスです。その洞察は、とても価値あるものです。つまり、あなたのような人は、数少ないということです。

愛と光のなかで マイケル

自分に対するどんな批判も非難も、あなたにとってプラスになりません。

あなたは、あなたが思っているよりもはるかに価値があります。

自己批判は、決してあなたの本当の価値を明らかにしません。

あなたの価値を下げるだけです。

あなたは、はるかにそれ以上に値します。

愛をこめて賞賛と受容であなたを見るなら、やがて、あなたであるセルフの本当の価値を見出すでしょう。

家族との関係、他人との関係、人生に対しても同じことが言えます。

あなたは、いつも最高に値する特別でユニークな人です。

そのことを生きましょう。それが、あなたの真理です。

by マイケル



ローズウェイニュースレター郵便購読の皆様へ

ニュースレターは、郵送の発行も受け付けています。の発行は、購読を希望される方は、購読料 4 回分2000円を郵便局にて振込み用しか、郵貯口座にお振込みください。2 年分でもかまいません。購読中止を希望される方はその旨お知らせください。

よろしくお願ひ致します。

郵貯 記号 16150 番号 17433281 オオカメヤスミ

振込用紙にてお振込みの場合は:

口座名 Roadway Japan 口座番号 01670-0-8516

お問い合わせ先: Roadway Japan 大亀安美 tel/fax 0897-34-8914

URL: <http://roadwayjapan.com/> e-mail: info@roadwayjapan.com

